

彙報

一、筑波大学哲学・思想学会会長及び評議員の選出

○平成十五年四月十九日(土)に開催された第一回評議員会において、互選により、新会長に河上正秀氏が選出された。

○学会規約にもとづいて、河上会長の推薦により、次の五名が会長推薦の評議員に選出された(評議員選挙により、二十一号記載の十五名が既選出)。

木村武史、塩尻和子、竹村牧男、保呂篤彦、米澤克夫

(五十音順、敬称略)

二、評議員会の開催

平成十五年四月十九日(土)、第一回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟八階会議室において開催された。

○平成十五年度の活動方針が審議された。

○審議内容のうち、会長の選出に関しては一に記した通りである。

○編集委員に、伊藤 益、笹澤 豊、塩尻和子、竹村喜一郎、谷川多佳子、山中弘の各氏が委嘱された。

○幹事に、平良 直、永野拓也の各氏が委嘱された。

平成十五年十一月一日(土)、第二回評議員会が筑波大学人文・社会学系棟八階会議室において開催された。

○幹事に、榛松雪彦、野崎晃市、本間啓介の各氏が委嘱された。

三、第二十四回学術大会の開催

筑波大学哲学・思想学会第二十四回大会は、平成十五年十一月一日(土)、筑波大学人文・社会学系棟一階大会議室を会場として開催され、以下の研究発表、公開講演および総会が行われた。

〔研究発表〕

1 不可避なるものへの負い目

—ヤスバースにおける責任の意識—

大石桂子

2 種の時空の披瀝

—柿本人麻呂をめぐる—

川井博義  
3 民間の神事芸能における鎮魂の作法  
長澤杜平

4 八正道の成立に関する一考察  
寺石悦章

5 徳は教えられうるか  
—ソクラテスにおける徳と知の概念—  
久保 徹

〔公開講演〕  
倫理と身体  
—男性性と女性性について—  
桜美林大学名誉教授  
湯浅泰雄氏

〔総会〕

○活動報告 永野拓也幹事より、平成十四年度の活動報告がなされ、承認された。

○会計報告 永野拓也幹事より、別表の通り平成十四年度会計報告(平成十四年四月一日〜平成十五年三月三十一日)がなされ、承認された。

○会計監査員の選出 久保 徹、檜垣良成の両氏が会計監査員に選出された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第二十二号の第一回編集委員会が五月二十一日(水)筑波大学人文・社会学系棟八階教育談話室において開催された。

○編集委員長に竹村喜一郎氏が選出された。

○第二十二号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が九月十七日(水)に第一回と同じ場所で開催された。

○第二十二回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○投稿論文の審査について検討された。

第三回編集委員会が十月二十二日(水)に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

五、会員異動

○新入会員 阿久戸義愛、遠藤浩史

岡田憲尚、郷原 玲、齋藤悠紀

佐久間秀範、津城寛文、深谷雅嗣

吉田真哉、劉 權敬

○退会会員 浅見 洋、天野哲史

筑波大学哲学・思想学会平成 14 年度会計報告

(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日) 会計担当幹事 永野拓也

収 入		収 出	
前年度繰越金	1,494,491	機関誌作成費	405,720
利子	230	通 信 費	92,680
学会 費	687,000	アルバイト代	24,000
抜刷代金(立替分)	28,350	大会開催費	71,086
		評議員会開催費	56,000
		学会封筒印刷費	32,655
		事務用品代	4,722
		次年度繰越金	1,523,208
計	2,210,071	計	2,210,071

泉 俊宏、上田慎一、笠井 貞  
 柏井 創、栗原 靖、鈴木 孝  
 西勝忠男、二瓶孝次、蛭田政弘  
 横手 健、吉田俊一  
 (平成十五年十一月三十日 千葉 建記)

『哲学・思想論叢』

第二十三号原稿募集

・原稿締切日

平成十六年九月一日(水)

・左記論文執筆規定をご参照の上  
 ご寄稿下さい。